

キラリタイム指導計画案（ロング **シ**ョート）

担当者（河 林）

日時	平成23年9月27日（火） 13:35～13:55（20分間）
題材名	「1本の線から…こんな絵できた！」
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた1本の線から想像をふくらませ、発想した絵を楽しんで表現する。（発想） ゆっくりな線、きれいな色を意識して、ていねいに表現する。（技能）
題材について	かかっている線からイメージを広げ、イメージをふくらませながら楽しんで表現し、多様な発想の面白さを味わう題材である。1本の線を縦から見たり横から見たりして、多様な見方から広がる発想を大切にし、一人ひとりの多様な表現のよさや面白さを互いに認め合えることができ、表現の楽しさだけでなく、鑑賞の楽しさも味わえる題材だと考える。「みんなちがってみんないい」ということを、この題材を通して感じられるのではないかと思う。
準備物	○ ピグマペン ○ 色鉛筆またはパスティック ○ 線がかかれた紙
学習の流れ	<ol style="list-style-type: none"> 放送の指示で、必要な材料用具を準備する。 放送を聴き、題材とめあてを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 題材名 「1本の線から…こんな絵できた！」 ☆ めあて <ol style="list-style-type: none"> 1本の線から想像をふくらませてかこう。 ゆっくりな線、きれいな色で、ていねいにかこう。 キラリタイムの約束を再度確認し、表現し始める。 <ul style="list-style-type: none"> ☆ 約束 ・心をこめて一生懸命に ・鉛筆の下書きはなし 作品の仕上げをする。 <ul style="list-style-type: none"> ※下のほうに「作品名」○ー○（クラス）名前を書く。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> T I（担当）が放送で導入をしているとき、①題材名 ②めあて を板書する。 用紙を配るときは放送で指示する。 題名や名前も絵のうちと考えるようにする。（字の大きさ、位置を考えてかくようにする。） 指導に当たっては、ほめることと励ますことに徹する。 表現の内容に注文をつけない（思うままの表現を保証する）。 早くできた児童は、ほかの学習をして静かに待つ。時間内にできなくて続けたい児童は、休憩時間等で仕上げる。

板書例

「1本の線から…こんな絵できた！」

めあて

- 1本の線から想像をふくらませてかこう
- ゆっくりな線、きれいな色で、ていねいにかこう

キラリタイム

キラリタイム「1本の線から…こんな絵できた！」放送原稿

担当による放送	担任の動き
<p>児童のみなさん、これからキラリタイムを始めます。机の上のものを片付け、よい姿勢で座りましょう。そして、心を落ち着かせるために、外から聞こえてくる音に、しばらく耳をすましてみましょう。</p> <p>心の準備は整いましたか？では、今日のキラリタイムについてお話を始めます。</p>	<p>→13:35からすぐにスタートできるように準備をしておく。</p>
<p>さて、みなさん。先生が持っているこのフニャラした線をじっくりと見てみましょう。横にすると、何に見えますか。縦にするとどうでしょう。斜めにして見ても、いろいろなアイデアが浮かんできそうですね。今日は、この「1本の線から…」想像をふくらませて、思いうかんだ絵をかいていきます。絵ができあがったときに、「あの1本の線から、こんな絵ができたの!」と見た人があっと驚くような絵をかいてみましょう。</p>	<p>→紙をいろいろな方向で見せる。</p> <p>→題材名を板書</p>
<p>それでは、絵をかくときの約束を3つ言います。まず一つ目は、①ゆっくり線でかくことです。ゆっくりとかくことで、心がこもったていねいな線がかけます。二つ目は、②えんぴつで下書きをしたり、消しゴムで消さないことです。一生懸命にかいた線にまちがいや失敗はありません。三つ目は、③きれいに色をぬることです。きれいに色をぬることで、自分の作品が2倍も3倍も美しくなります。この3つの約束を守って「心をこめて、一生懸命」かきましょう。</p>	<p>→めあてを板書</p>
<p>絵がかけた人は、作品に題名をつけてあげましょう。題名も自分の名前も絵の一つなので、ていねいに書きましょう。では、今から紙を配ります。準備ができたなら、静かに絵をかき始めましょう。</p>	<p>→紙とペンを配る。</p>